

皆さんで「よい授業」を創っていきましょう

大津市教育センター所長 村田 耕一

本年度大津市教育センター所長を務めさせていただきます村田耕一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

また、平素は、本教育センターの事業に対しまして、ご協力いただきありがとうございます。教職員の皆さん、一人ひとりが、指導力や専門性を高められるよう研修や研究を企画・運営し、取組を推進してまいりますので、ご支援のほどお願いいたします。

さて、この4月、「第4期大津市教育振興基本計画」がスタートしました。基本理念は『一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育』です。この基本理念には、「一人ひとりが自分のよさを生かす」や「多様な他者と協働する」等、各学校園での具体的な取組に繋がる内容が示されています。また、基本計画の中には、学習指導要領に示される資質・能力を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が謳われています。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実については、学習内容や目的に合わせて効果的にバランスよく位置付けていくことが大切と考えています。なぜなら、それぞれに「強み」と「弱み」があるからです。

「個別最適な学び」については、一人ひとりに応じた学習ができるなど、自ら選択し学習を進めることができる一方、学習の差が生じたり、対話による深まりが生まれにくかったりするなどが考えられます。

「協働的な学び」については、対話による学習により、全体としての深まりが生まれたり、学習の差を生じにくくしたりすることができる一方、受動的になったり、一人ひとりに応じた学習になりにくかったりすることなどが考えられます。

私は、担任をしていたころ、「個別最適な学び」については、一人ひとりの学習課題に応じた学習内容や方法の設定、そして、それぞれの学習の進度などの「みとり」に難しさを感じていたのを覚えています。そこで、有効に活用したいのが、一人一台端末(タブレット)になると思っています。ICTのデジタル学習基盤を一層整えていくことが、その解決の一助になると感じています。私たちは、育成を目指す資質・能力をつねに視野に入れ、単元計画や学習過程に「一人ひとりが学ぶ」「みんなで学ぶ」を効果的に位置づけ、それぞれの「強み」を生かした授業づくりを進めていくことが必要と感じています。

昔、担任していた子どもから、「授業中に、みんなでわいわいと意見を出し合っていたのが、とても楽しかったよ。(何を学習したのかはあまり覚えていないけど...)」と当時を振り返って話してくれたことを覚えています。私は、授業はLIVE(ライブ)と感じています。教師と子どもたちとで創り出すものだからです。子ども一人ひとりが、充実感や達成感をもち、一体感のある学びの時間にしたいと考えています。

ともに「よい授業」を創っていきましょう。

研修事業

教職員が学び合いを深めるため、同じステージでの研修を開催しています。

初任者研修（58名）（7，8月には幼稚園新規採用教員5名と共に合同研修を実施します。）

4月1日に辞令交付式を終え、今年度新たに小学校36名、中学校22名の大津の教育を支える仲間となる初任者を迎えました。

この時期、初任者にとっては慣れないことばかりで、悩みを抱え込みやすい2か月です。そのため、集合研修であることを生かし、初任者同士の繋がりを深められるようにペアやグループで交流する時間を多く取り、また、主体的な学びになることを大切にしながら研修を実施しています。



辞令交付式



ペアやグループでの交流



マナーと接遇の研修



遊びを通して幼児教育に触れる研修

【受講者の声】

- ・ 社会人としての自覚を持ち、当たり前のマナーを身に付けられるように、「挨拶・表情・身だしなみ・立居振る舞い・話し方」の5つのキーワードを意識したいです。また、リスクマネジメント・タイムマネジメントや心身の健康管理を心掛け、成長していきたいです。（「社会人としてのマナーと接遇」より）
- ・ 純粋に楽しむ心を忘れていたことに気がきました。常に「教えなければ」という思いがあると、子どもの目線に立てないのだと思いました。一緒に学ぶ（楽しむ）ようにしていきたいです。また、子どもだけでなく、教師も「共主体」となって活動できるようにしていきたいです。（「幼児教育について」より）



教職2年次研修（51名）・教職3年次研修（60名）[同時双方向型オンライン研修]

生徒指導力の向上といじめ問題への対応に関する研修を行いました。オンラインでしたが、グループでイラストから考えられる生徒指導上の問題点や対応策を話し合ったり、「居場所づくり」と「絆づくり」について考えたり、積極的に意見を交流しました。

【受講者の声】

- ・ 今回の研修で、改めて生徒指導の大切さや普段の子どもたちに対する観察の重要性を学ぶことができました。イラストを見てグループで考察する活動では、考えれば考えるほど様々な可能性が出てきました。普段の業務の中で、いかに子どもの様子に気付くことができるかが大切だと感じました。しっかり見ることができる場面を多く作り、一人ひとりのSOSに対応できるようにしていきたいです。

教職6年次研修（58名）

オンデマンド型研修で服務に関する研修を、集合研修で生徒指導といじめ対応に関する研修を実施しました。オンデマンド型研修で各自が学んできたことを集合研修の際に交流することで、学んだことの振り返りをしっかりと行うことができました。また、小中混合のグループで交流する時間を多く取ることで、他校種の新たな視点を得ながら、児童生徒への適切な対応を学びました。

【受講者の声】

- ・ いじめのない学級をつくるには安心できる環境が必要だと感じました。そのために自己決定できる指導を心がけたいです。こちらの価値観を押し付けたり、決めつけたりするのではなく、子どもの話に耳を傾け、一人ひとりに寄り添いたいです。また、いじめを防ぐために、心のブレーキを踏める自己指導能力を育てていきたいです。

中堅教諭等資質向上研修（47名）

[同時双方向型オンライン研修]

服務と関係法規の研修を実施しました。考える時間を多く取り、オンラインでも主体的に学ぶことができるようにしました。過去の事例の話を聞き、自分自身で深く考えることで、教育公務員としての職責を再確認することができました。

【受講者の声】

- ・ 中堅教員として、若手教員のロールモデルとなる行動が求められるので、自らが児童生徒との関係を丁寧に築き、「子どもが安心して挑戦できる教室づくり」を実践していきたいです。また、教職員間のコミュニケーションの橋渡し役となり、チームとして協働する文化を築き、授業や学校行事の中で「子どもの主体性を引き出す」ような機会を設け、子どもが輝ける場面を意図的に演出することも重要だと感じました。それらのために、具体的な方法を試行錯誤しながら取り組んでいきたいです。

OIE-NET 教職員向け WEB ページ をご活用ください！！



OIE-NET 教職員向けWEBページ

上の画像をクリックしていただくと、市立小中学校へのリンクページにジャンプできます。

**教材データ
実践事例**

「指導案」、「教材」、「L-Gate」、「家庭学習支援プリント」等はこちらのボタンから

教科等領域別研究会作成教材

- 7. 小学校国語科 部会
- 8. 小学校社会科 部会
- 9. 小学校算数科 部会
- 10. 小学校理科 部会
- 11. 小学校生活科 部会
- 12. 小学校音楽科 部会
- 13. 小学校図画工作科 部会
- 14. 小学校体育科 部会
- 15. 小学校外国語活動・外国語科 部会
- 16. 小学校道徳科 部会
- 17. 中学校国語科 部会

大津市の教職員向けの WEB ページをご存じでしょうか？

学校のインターネット環境からでないとう入ることができないため、ご自宅で閲覧等していただくことはできませんが、昨年度末に、教科等領域別研究会の公開授業等の指導案を多数提供いただき、「教材データ・実践事例」のページにアップしました。日々の授業や校内研究の授業実践の参考にしていただければと思います。

タイトルバックの琵琶湖の画像から、市内各小・中学校のホームページへジャンプできるようリンクが貼ってあります。また、教科等領域別研究会の開催予定のカレンダーもありますので、ぜひご活用ください。

教科書展示会 開催のご案内

日時 : 6月3日(火)～6月28日(土) 9:00～17:00

※ただし、期間中の日曜日・月曜日は除く。

場所 : 生涯学習センター 4階 第4研修室



小・中学校や高等学校の教科書、特別支援学級で使える図書等を展示しています。

貸出図書紹介



『問いのデザイン』

安斎 勇樹
塩瀬 隆之 著
学芸出版社 発行

ワークショップのデザイン、ファシリテーションの技法、課題を定義する手順、課題設定の失敗パターン(罫)、リフレーミング(物事を違う視点で捉えなおすこと)のテクニック等について、たくさんの例を挙げながら具体的に書かれています。校内外で研修会を企画する際だけでなく、授業づくりにおいても参考になる、おすすめの一冊です。

教育センターでは、授業づくりや園児・児童・生徒支援に役立つ図書を貸し出しています。研修等で来所の際、ぜひご覧ください。



笑顔輝く保育から

幼児教育でも、小・中学校以降の学びにつながる「主体的・対話的で深い学び」の基礎を培っています。

今後も各地域の学校園で保育・授業参観や、研究協議などを継続して行い、連携・接続を通して、大人も子どもも笑顔が輝く大津の教育を目指していきましょう。

大津市教育センター 職員・事務分担

【所長】	村田 耕一	教育センターの総括
【次長】	平井 重美	所長職務の補佐、管理グループの総括、教員研修計画に関すること
【指導主事】	佐志原 嘉彦	研修グループの総括、ステージ研修、職務研修、スキルアップ研修、委託研修等に関すること
【指導主事】	米平 有里	ステージ研修、職務研修、スキルアップ研修、委託研修等、技術・家庭科作品展等に関すること
【指導主事】	小川 敦士	研究グループの総括、教科等領域別研究会運営、科学作品展等に関すること
【主査】	松尾 誠史	幼稚園・こども園教職員研修、特別支援教育研修、学校園教育研究委員会等に関すること
【会計年度職員】	梅井 俊仁	若手教員育成学校園訪問、生涯学習センター・教育センター貸室業務に関すること
【会計年度職員】	橋詰 幸喜	若手教員育成学校園訪問、「わたしたちの大津」編集委員会等に関すること
【会計年度職員】	小林 典也	若手教員育成学校園訪問、文献等受付・整理・回覧、Web ページに関すること
【会計年度職員】	石田 博士	若手教員育成学校園訪問、教科書センター・教科書展示会等に関すること
【会計年度職員】	山内 小百合	管理事務の実務に関すること

<来館時の注意>

『大津市生涯学習センター』はたくさんの市民の方が利用される複合施設です。

館内の施設は、教職員の研修や研究会だけでなく、

一般市民のみなさんの生涯学習活動等に多く利用されています。

来館の際は公共交通機関を利用し、公共の場でのマナーを守ってください。